

市連自治会だより

第 18 号

発行/令和5年9月1日

高岡市連合自治会
(高岡市共創まちづくり課内)

高岡市広小路7-50

TEL 20-1326



高岡御車山祭



会長あいつつ

高岡市連合自治会
会長 角玄 富雄

市民の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より自治会活動に格別なご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、元号が令和となつてから猛威をふるつた新型コロナウイルス感染症も今年に入り、季節性インフルエンザと同じ第5類へ移行となりました。高岡市においても高岡御車山祭や、伏木曳山祭など、多くの観光客が訪れ、コロナ以前の賑わいに戻りつつあることを実感しております。また、コロナ禍において自粛や縮小してきた地域行事についても、再開の動きが出てきており、地域のつながりの復活を感じることができるようになってきました。

昨年度、高岡市総合計画第四次基本計画が策定されました。時代に応じた変革に取り組みながら、すべての人が主役となる地域づくりをできる環境を整え、持続可能で進化し続ける「持続可能な未来都市 高岡」を目指していくこととしております。

連合自治会としましても、誰もが主体的に参加しやすい自治会活動を目指し、地域活動の活性化に向けて取り組みを強化していきたいと思っております。

昨今、地域コミュニティの衰退が問題となつてきております。単位自治会においても、役員の負担が非常に大きくなっており、また役員が固定化するなど、なり手不足の問題もあります。負担軽減に向けて、連合自治会としましても、「結ネット」を活用し、行事や市からの案内、出欠確認等をスムーズに行うことができる体制づくりや、自治会運営の見直しを含めた状況改善に全力で取り組みます。加えて、市当局と協力致しまして、これからも、市民の安全安心を最優先に活動を進めてまいりますので、皆様方の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。挨拶と致します。



令和5年度 定期総会の開催

5月30日、ホテルニューオータニ高岡において本年度定期総会が開催されました。

総会では、令和4年度事業報告・収支決算報告、令和5年度事業計画（案）・収支予算（案）、規程の改定（案）が審議され、原案どおり承認されました。

令和4年度の主な活動内容及び令和5年度の事業計画は次のとおりです。

令和4年度に実施した主な事業

- ・定期総会 (5月)
- ・たかおかSDGsパートナー制度登録 (7月)
- ・市当局との懇談会 (8月)
- ・「市連自治会だより」発行 (9月)
- ・県西部地域自治会会長意見交換会 (10月)
- ・研修会 (11月)
- ・「地域課題に取り組む各地区の事例について」(11月)
- ・高岡市に対する要望書提出 (11月)
- ・議会傍聴(高岡市議会12月定例会) (12月)
- ・富山県知事に対する要望書提出 (12月)
- ・議会傍聴(高岡市議会3月定例会) (3月)

令和5年度の主な事業計画

I 高岡市連合自治会は、市勢の発展と住民が安心して暮らすことのできる豊かで明るい地域社会づくりに寄与するため、各地区連合自治会相

互の連携の基に、行政及び関係団体との相互協力・協調を図り、少子高齢の進展に危機感を持ちながら持続可能な地域活動に努めるため、次に掲げる事業を行います。

II 事業内容

- ① 高岡の魅力を活かしたまちづくりへの提言
- ② 安全で安心なまちづくりの推進
- ③ 地域福祉の増進
- ④ 環境保全・美化運動の促進
- ⑤ 地域活動を担う参加者の拡大と人材育成
- ⑥ 持続可能な地域活動の実現に向けた取組み

栄誉に輝く

■春の叙勲

浦田 一郎 氏(佐野)

■市民功労者表彰

藤田 晴久 氏(西条)
 増井 俊一 氏(太田)
 下山 実 氏(川原)
 米島 義三 氏(下関)

■富山県自治会連合会会長表彰

故 大坂 昭輔 氏(牧野)



研修レポート

地域課題に取り組む 各地区の事例について

地域における課題が多様化している中、地域課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいる事例を共有することが重要であると考え、高岡市連合自治会では、当事者目線で学ぶため3つのテーマを設けて研修会を行いました。

「結ネットの導入と活用」については、定塚、福岡、西条の3地区の事例を発表しました。地域の情報を共有できる体制の構築や、複数地区での共同利用の試みなど、各地域の運用方法について学ぶことができました。

「地域協働型交通の挑戦」については、小勢、守山、野村、中田の4地区の事例を発表しました。公共交通が十分ではない地域において、共助の精神の下、地域住民の足となる交通システムの導入事例と今後の展開について学ぶことができました。

「地域の担い手不足対策」については、成美、国吉の2地区の事例を発表しました。担い手不足の対策として、プロジェクトの立ち上げや、単位自治会のブロック化等、持続可能な地域活動を図るための取り組みについて、学ぶことができました。

この研修会を通じ、当事者から説明を聞くことができ、各地域の課題と、課題に対する生の声を共有できました。それぞれの地域が抱える課題解決のヒントを得ることができたため、非常に有意義な研修会となりました。



ノッカル中田の概要について

中田地区連合自治会長 道谷悦一



現在、高岡市の中田地区で実証実験期間中の「ノッカル中田」の概要についてご紹介いたします。

ノッカル中田は、国土交通省の事業者協力型自家用有償旅客運送で片道500円と有償ですが、白タク行為ではなく法的に認められ、富山運輸支局に登録済みの公共交通サービスです。

ノッカル中田は、ご近所さんのお出掛けの自家用車の空席の後部座席などに、移動したい利用者が「ついでに乗っかる」という仕組みで、ドライバーの助け合いの精神の下、自分の予定に合わせて近所の利用者を自分の車に乗せて送迎するものです。

ノッカル中田は、地区住民で構成する中田地区コミュニティ協議会が運行の母体です。朝日町役場が母体である「ノッカルあさひまち」がありますが、町役場主導ではなく、地区住民が主導で構成し運行している点が大きく異なります。運行管理や車両管理面は、交通事業者である高岡交通株式会社に協力してもらっているものです。

中田地区では、長年、将来に向けての地域公共交通が大きな課題のままでした。

鉄道はなく、現在の一路線のバスだけでは、総面積が東京ドーム218個分と広い中田地区では限界があり、人口減少と高齢化が進み総人口は5,580人、36%が65歳以上の高齢者、5年後には43%を超える見込みです。さらに、運転免許証の返納者の増加、免許更新時に

違反があれば実技試験合格が必須の現状下、今はまだ車時代ではあるものの、徐々に移動の足がなくなる事態に突入していくことは間違いありません。

そんな折、高岡市からの紹介で、株式会社博報堂のマイカー利用によるノッカルを知り、中田地区では地域バス・地域タクシーと比べ、ノッカルが運営費の面などから見て最善・最適なものであると判断しました。

令和4年11月から実証実験を開始したノッカル中田は、路線バスやタクシーとは共存共栄する姿勢で運行区域の拡大を図り、令和5年7月1日からは、中田地区全域から戸出駅付近への乗り入れ並びに中田地区全域から中田中心部への乗り入れが可能となりました。

今後、毎月広報紙「ノッカル通信」を発刊し、認知度を高めるとともにドライバーや利用者の増大を図り、地域のご理解を頂いて本格運行開始に向けて邁進するものです。

ノッカル中田の誕生は、中田地区における移動の心配や不安を無くし、安心して住み続けられるまちづくり、移り住みたいという気持ちにさせる魅力あるまちづくりに拍車をかけ、また、ドライバーと利用者との助け合いの交流が生まれることで、より中田地区の活性化を増大させるものであると確信しております。

将来このノッカル中田が手本となり、これからの高齢化時代に向け、高岡市全域、そして富山県下、全国へと広がるものにしていきたいと考えております。ノッカル中田を、今後とも見守っていただきまますようよろしくお願いいたします。

地域課題に挑む 特集②

自治会活動のデジタル化による効率的な運営を目指して

高岡市連合自治会では、デジタルによる地域の基盤を伴うことで、担い手不足解消に向けた負担軽減のため、スマートフォン向け電子回覧板アプリ「結ネット」の導入を推進しています。

全戸配布や班回覧による各種案内、行事等の出欠確認や回答など、これまで回覧板や電話、郵送などで行っ

てきたやり取りが、結ネットで行うことができます。また、スマホやタブレットでもいつでも情報を受信することができます。ほか、情報が蓄積されるので、過去の情報や案内を見返すこともできます。発信した記事の未読・既読状況の確認や、出席と回答した方のみ追加案内を送ることができる機能などもあり、利用中の自治会から好評です。

地震や大雨などの緊急時には、災害モードに切り替えることで、住民の皆さんの安否を確認することができます。GPSの位置情報、写真・音声・動画の添付など、スマホの特性を最大限に活用することで、よりスムーズな情報共有が可能です。災害モードを利用した避難訓練を実施した福岡地区の矢竹会長は「操作が簡単で、安否状況も随時更新ができる。防災力の強化には欠かせない連絡手段だ」と話します。

高岡市では、全36地区のうち、31地区が導入し、自治会長や各種団体との情報共有・連絡調整に利用されています。また、単位自治会においても10自治会で活用されています。

高岡市連合自治会では、地区連合自治会・単位自治会での導入拡大を推進していきます。また、高岡市でも昨年に引き続き、初期導入費用の補助も行っています。詳細はお問い合わせください。



結ネットが自治会活動をサポートします！



結ネットの詳細はこちら

問合せ先
高岡市共創まちづくり課
☎ 0766-20-1328

役員・会員の紹介 (令和5年度)



会長
角玄 富雄(戸出)



副会長(総務)
宇波真一郎(定塚)



副会長
矢竹 有至(福岡)



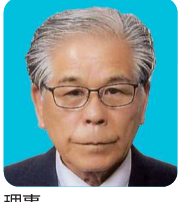
副会長
藤田 晴久(西条)



副会長
増井 俊一(太田)



理事(会計)
森田 和夫(福田)



理事
橋本 善明(能町)



理事
大庭 和之(野村)



理事
小栗 久雄(二塚)



理事
月安 幸三(木津)



理事
杉本 孝之(国吉)



理事
山本 睦男(北般若)



理事
出口 勇(大滝)



監事
中井 隆行(二上)



監事
前田 義弘(東五位)



監事
坂 廣志(伏木)



相談役
杉江 幸男



相談役
浦田 一郎



会員
和田 徹(平米)



会員
北林 和正(下関)



会員
古國府信二(博労)



会員
西田 公信(横田)



会員
下山 実(川原)



会員
牧 隆(成美)



会員
谷 晴雄(守山)



会員
関口 謙(佐野)



会員
広地 功信(小勢)



会員
伏江 努(立野)



会員
橘 信一(石堤)



会員★
江守 裕(牧野)



会員
牧野 光男(古府)



会員
佐伯 正則(醍醐)



会員
上田 義一(是戸)



会員
道谷 悦一(中田)



会員
永原 博(山王)



会員★
小崎 直之(西五位)



会員
杉本 孝雄(五位山)



会員
山崎 久栄(赤丸)

★印は新会員

編集後記

去る5月30日に、高岡市連合自治会定期総会が開催されました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第5類へと移行となりました。アフターコロナ時代の中、これまで自粛や縮小していた地域活動の再開を目指し、役員・会員一同、果敢に地域課題に取り組み決意をいたしました。

◆ 本稿では、地域活性化を目指した取り組み内容として、地域交通の取り組みと、結ネットの概要や導入状況についてご紹介しました。持続的な地域活動の実現のため、各地域が抱える課題と向き合い、時代に合わせた挑戦を続けていく所存です。

◆ 結びに、ご多忙の折、取材等に応じただきました方々に深く感謝申し上げます。

編集委員 藤田 晴久(記)

月安 幸三

出口 勇

中井 隆行